

＜白金標準先物、強気転換から 4000 円へ＞



(出所：オアシス)

先週に中国国務院は国内原材料の価格上昇を抑えるため、国内備蓄の銅、亜鉛、アルミニウムなどを売却している。また中国の6月乗用車販売は前年比で5.3%減となるなど、白金価格の値下がり結び付いている。しかし週末には中国人民銀行が、市中銀行の預金準備率を0.5%の引き下げを発表し、国内企業の支援策に動きを見せている。

そのため5月以降、リフレトレードの巻き戻しの動きやFOMCのテーパリングの要因を受けて3617円まで下値を模索したが、行き過ぎた反動は3970円まで戻りを見せ、週末の反転で下値を切り上げるなど、買い戻しを示している。特に市場は「悲観の中で生まれ、懷疑の中で育ち・・・」の格言で示す場面であり、既に安値から200円以上の上昇を見せているが、今後の上昇に懐疑的な見方が強く、楽観の中で4000円を回復する可能性が高くなるのではないかなと思える。

(2021年7月11日記載)

＜テクニカル＞

相対力指数(RSI)で見た場合は、貴金属における強弱の分岐点である50%に迫りながら、強気に転じる直前である。また相対力指数の弱気基調を示す高値と高値を結ぶ下降ラインを相対力指数がブレイクする直前でもあり、ブレイクすると基調は強気に転じた事を示すため、来週は相対力指数が53%を超える場面では新規買いのサインと予想される。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 717,697 (前週比+6,619)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 75.13 (前週比-0.25)